

【九月の言葉（令和二年）】

交通安全に必要なものは

お守り？^{はら}お祓い？ いえ、安全運転です！

「七」は「ラッキーセブン」、「八」は「末広がり」と考えられ、広く好まれている数字ですが、反対に「四」や「九」は敬遠されることの多い可哀想な数字です。「四」を「死」、「九」を「苦」と語呂合わせするのが敬遠の理由なのでしようが、四国や九州に住んでいる人たちの身になれば失礼な話です。

お守りやお祓いのご利益を本気で信じている人間は少ないでしょうが、気休め程度でも心のどこかに安心感を抱いているとすれば、その安心がそのまま慢心へとつながり、大事故を誘発しかねません。

事故を起こすかもしれない可能性を抱えた自分の危うさを知るからこそ、細心の注意を払って安全運転に努めようという気持ち芽生えるのです。

物事の道理を明らかに見極めなければ、思わぬ落とし穴に転落しかねません。“事故”同様に、因果の道理を見失いがちな“自己”にも気をつけたいものです。